

日野川の源流と流域を守る会

会 報

ひのがわ

— 第34号 —

＝ 目 次 ＝

- 平成31年総会 2
- 講演会・日野川フォトコンテスト2018表彰式 3
受賞作品の紹介(その1)
- 受賞作品の紹介(その2) 4
- 日野川フォトコンテスト2019作品募集 5
- 都合山たたら散策ツアー 6
- ちょこっとお花だより 7
平成31年森と水に親しむ活動を支援
- 今後の活動予定、会員募集 8

表紙写真:清滝(日南町)
撮影:当会幹事 榎木建明氏

平成31年 総会・講演会が開催されました

平成31年2月22日(金) 場所:米子市文化ホール イベントホール



平成31年日野川の源流と流域を守る会の総会・講演会を開催し、約110名の参加がありました。議事では、事務局から平成30年事業報告、平成31年事業計画案、会則の一部改正と会計処理規程等諸規定の制定、役員改正案の提案があり、原案のとおり承認されました。

豊島会長から挨拶で「昨年の大山開山1300年祭では大山を「大山さん」と親しみを持って呼んでいたが、地域に多くの恵みをもたらしている日野川も「日野川さん」と呼んではどうか」という日野川への愛情のこもった言葉をいただきました。

なお、豊島会長は、平成31年3月末をもって鳥取大学学長を退任されるのに伴い、本会の会長も退任されることになりました。豊島会長には平成25年4月から6年間、会長として様々な場面で日野川の源流と流域を守る会の発展にご尽力いただき、ありがとうございました。



平成31年 活動の基本方針

- 森、川、海を守る活動、歴史や文化、自然を学ぶ活動、普及啓発活動、その他本会の目的を達成するために必要な活動をバランス良く実施する。
- 日野川の将来を担う子ども達の積極的な育成を図る。
- 日野川流域の素晴らしさを積極的に伝え、活動でもメッセージを伝えていく。
- 関係機関と連携を深め、より良い活動を行う。

平成30年収支決算

1 収入の部

(単位：円)

区 分	決算額	備 考
繰越金	478,399	平成29年より
会 費	699,000	
補助金	481,830	H30鳥取県森林環境保全税関連事業費補助金
その他	8,004	鳥取県社会福祉協議会助成、預金利息等
計	1,667,233	

2 支出の部

(単位：円)

区 分	決算額	備 考
会議費	46,992	総会、幹事会
事業費	737,318	
助成金	390,000	3団体に助成
広報費	190,000	会報32・33号
事務費	100,770	郵券料、封筒作成ほか
予備費	0	
計	1,465,080	

※残額202,153円は、次年度に繰越

平成31年収支予算

今年度も、総会・講演会や森・川・海を守る活動、歴史・文化・自然を学ぶ活動、上流域と下流域の交流推進活動、日野川流域憲章記念事業などの活動を行います。

1 収入の部

(単位：円)

区 分	前年予算額	本年予算額	増(▲)減	備 考
繰越金	478,399	202,153	▲276,246	平成30年より
会 費	800,000	700,000	▲100,000	
補助金	800,000	800,000	0	
その他	100	100	0	預金利息等
計	2,078,499	1,702,253	▲376,246	

2 支出の部

(単位：円)

区 分	前年予算額	本年予算額	増(▲)減	備 考
会議費	150,000	120,000	▲30,000	総会、幹事会
事業費	1,000,000	860,000	▲140,000	イベント開催に要する経費
助成金	500,000	400,000	▲100,000	森と水に親しむ活動支援事業3団体
広報費	200,000	190,000	▲10,000	会報ひのがわ34号、35号
事務費	210,000	110,000	▲100,000	郵券料、封筒作成ほか
予備費	18,499	22,253	3,754	
計	2,078,499	1,702,253	▲376,246	

講演会

「世界最大の両生類オオサンショウウオの 生息環境から見た日野川の自然」

総会に続き、長年日野川流域でオオサンショウウオの生態調査を行っておられる岡田 純氏から、日野川流域におけるオオサンショウウオの生態や自然環境の保全の重要性などについて話していただきました。

参加者の皆さんは、終始話に熱心に耳を傾けて、講演後の質疑で日野川に生息するオオサンショウウオが他の生物に与える影響や、オオサンショウウオ以外のサンショウウオの保護状況といった質問を講師に出されるなど、関心の高さがうかがわれました。

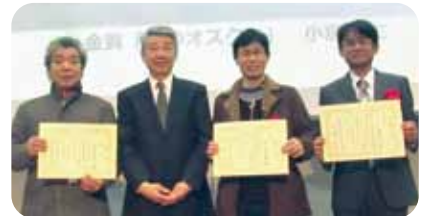


講師 岡田 純氏
(NPO法人日本ハンザキ研究所理事長)

日野川フォトコンテスト2018受賞者表彰式

「日野川流域の恵みと魅力を次世代に引き継ごう」をテーマに日野川フォトコンテスト2018を開催しました。

今回、日野川の魅力が詰まった応募作品44点の中から、厳正な審査の結果、グランプリ1点、金賞3点、銀賞5点が選出され、受賞者に賞状と副賞として日野川流域の特産品が授与されました。



会長と金賞受賞者の皆さん



会長と銀賞受賞者の皆さん

応募期間 平成30年6月4日～9月28日

日野川フォトコンテスト2018受賞作品の紹介(その1)

日野川フォトコンテスト2018でグランプリに選ばれた作品を紹介します。

👑 グランプリ



「日野橋を照らすダイヤモンド大山」
(撮影)生田 展久



会長とグランプリを受賞した生田さん

作品への思い：通勤途中、日野橋で人がカメラを構えて並んでいたのが「あら、今日はダイヤモンド大山だった」と慌てて撮りました。

日野川フォトコンテスト2018受賞作品の紹介(その2)

日野川フォトコンテスト2018で金賞、銀賞に選ばれた作品を紹介します。

金賞

「ふたつ空」(撮影)村川 節秀



作品への思い：
日野川水系の法勝寺川。このあたりは川の流れを止められてゆっくりと流れます。水面に映る空がとてもきれいで橋を渡ると思わずシャッターを切りました。

「日野川エメラルド」

(撮影)真砂 昇平



作品への思い：紅葉の下にエメラルドグリーンにかがやく日野川の清き流れにいやされました。

「夜のオスクニ」(撮影)小島 憲二



作品への思い：今から1300年以上前には、山陰では当たり前のように神話を感じることができたと思いますが、人や建物が増えた今でもそれを感じることが出来るのではないかと思います。古事記にチラッと登場する月読命を意識して撮ったものです。存在が当たり前すぎて神話を感じることが少ない山陰の方に、少しでも意識していただけるようになると嬉しいです。タイトルは古事記の“月読命に詔りたまはく、「汝が命は、夜之食國（よるのおすくに）を知らせ」から。「夜のオスクニ」は、(月読が治める)夜の世界ぐらいの意味かと思います。

銀賞



「トンビ舞う」
(撮影)古安 宣夫



「満開の桜が雪化粧」
(撮影)七瀬 英夫



「アユ釣り」
(撮影)野坂 正昭



「20:30」
(撮影)平林 知紘



「川に親しむ」
(撮影)渡辺 敏美

日野川流域の恵みと魅力を次世代に引き継ごう

日野川フォトコンテスト2019

作品募集!!

募集期間

平成31年5月13日(月)
～10月18日(金)



日野川フォトコンテスト2018応募作品
題名：お魚いるかな？ 撮影者：藤原文子

あなたの好きな日野川を切り取ってみませんか？

撮影対象

日野川及び日野川流域の自然、山森、里山の風景、流域の人々の生活文化など、日野川に関係があれば何でも結構です。

募集作品

四切またはA4サイズ（カラー・モノクロいずれも可）

※応募作品は、本人が平成30年9月以降に撮影した未発表のものに限ります。

応募方法

写真1点ごとに裏面へ①作品タイトル、②作品への思い、③撮影年月、④撮影場所、⑤氏名、⑥住所、⑦連絡先を明記して、持参または郵送してください。（1人3点まで応募できますが、入賞は原則として1人1作品とします。）

※下記アドレスのホームページ掲載の応募用紙を御利用ください。

賞・賞金・副賞

グランプリ1点、金賞3点程度、銀賞5点程度（いずれも賞状、副賞(日野川流域特産品)あり)

結果発表

11月下旬頃に入賞者の方に直接連絡し、その後、ホームページで発表します。

応募上の注意等

- (1) 応募資格に制限はありません。
- (2) 応募点数は1人3点までとします。
- (3) 応募作品は平成30年9月以降に撮影した未発表のものに限り
- (4) 人物を被写体にした作品の場合は当事者の了解を得てください。また、被写体が未成年の場合は、親権者の承諾が必要です。主催者は肖像権侵害等の責任を一切負いません。
- (5) 応募作品の著作権は応募者に帰属しますが、主催者は応募作品を主催者の会報紙や啓発冊子、写真展等に無償で使用する権利を保有します。
- (6) 主催者が応募作品を使用する場合は、原則として撮影者の氏名を表示します。
- (7) 応募作品は返却しません。

審査方法、表彰

- (1) 審査方法 石丸なつ子氏（鳥取県写真家連盟運営委員・サークルU所属）及び当会の幹事等で構成する審査会により入賞作品を決定します。
- (2) 表彰 入賞作品は、日野川の源流と流域を守る会総会（2月予定）において表彰します。

応募・問い合わせ先

日野川の源流と流域を守る会事務局

〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨140-1 鳥取県日野振興センター日野振興局内

電話：0859-72-2080 ファクシミリ：0859-72-2072

ホームページ：https://www.pref.tottori.lg.jp/282491.htm（←応募用紙はこちらから）

活動
レポート

都合山たたら散策ツアー

H30.10.13 場所:日野町根雨
日南町花口～日野町上菅



日野川流域の豊かな自然や歴史に思いをはせる

古来より日野川流域に暮らす人々の暮らしを支え、日野川や下流の弓浜半島の形成に影響を与えたとも言われる「たたら製鉄」を知り、「たたら」に縁のある場所を散策する「たたら散策ツアー」を開催しました。

まずは日野町根雨にある「たたら楽校根雨楽舎」で「たたら」の歴史文化について勉強です。奥日野ガイド倶楽部会長で伯耆国たたら顕彰会会員でもある佐々木彬夫さんのわかりやすい説明で「たたら」への理解が進み、これから歩く「都合山たたら街道」への期待が膨らみます。



▲掲示された年表を見ながら「たたら」の歴史をひもときます。



▲高殿模型の精密さに興味津々です。

都合山たたら街道は約7kmの山道ですが、かつては馬や荷馬車で和鉄や石灰石を岡山県側に運ぶルートになっていたそうで、当時の建物は残っていませんがほぼ中間あたりに都合山たたら遺跡があります。

2週間ほど前に襲来した台風24号の影響で、道が荒れて足元の悪い箇所などがありましたが、秋晴れの心地よい陽気の中、参加者は日野川の歴史の奥深さと自然の豊かさを存分に味わいました。



▲街道の至るところにたたら痕跡が見られます。



▲都合山たたら遺跡の解説に聞き入ります。

- たたらについて知らないことが多く、今日お話を聞かせていただき大変参考になった。
- 遺産として大切に整備等実施して、また企画してほしいと思います。

参加者の
声

平成30年9月30日に実施を予定していた「日野川源流探訪」は悪天候（台風24号）の影響により中止になりました。



ヤマエングサクが花盛り



セントウソウやイチリンソウなどの白い花に混じって、青紫色の鮮やかな花が咲いています。近づいてみると面白い形をしています。このヤマエングサクをご紹介します。

ヤマエングサクの名前の由来って何でしょうか？漢方薬の「延胡索」を日本語読みしたものとされています。塊茎（かいけい：地中において不定形に肥大した地下茎）を乾燥させた生薬「延胡索」は鎮痛に効果があるとされています。

花の正面を拡大してみると、面白い形をしています。外側の上下に2枚の花弁（かべん：花びら）があり、内側に2枚の小さな花弁が左右から合わさって雄しべと雌しべを包んでいます。



ヤマエングサク



ヤマエングサクの花弁(花びら)

外側の花弁(上)
内側の花弁
外側の花弁(下)



ムラサキケマン

ちょこっと豆知識

ウスバシロチョウ（アゲハチョウ科）の幼虫は有毒成分を含むケシ科のヤマエングサクやムラサキケマンを食草としています。このため、ウスバシロチョウは成虫になっても毒の成分が残留していて、天敵に捕食される心配がないのかゆっくりと飛んでいます。日本海側の個体は黒く、太平洋側の個体は白いようです。



ウスバシロチョウ

平成30年 森と水に親しむ活動を支援

将来を担う子ども達や流域住民の方に、体験を通して日野川流域の森や水辺の自然環境、歴史文化などに対する理解を深める取り組みを行っている団体を支援しています。

日野川河川敷へのひまわり、コスモス、菜の花の植栽活動【奥大山菜の花の会】

江府中学校の生徒による菜の花プロジェクトと協働で日野川河川敷の景観保全活動が行われました。

今回は豪雨や台風による河川の増水で植栽のうち開花した数はわずかという残念な結果になりましたが、種まきから苗を育てる取り組みを通じて参加者は地元への愛着を強くしたと思います。



募集中 平成31年森と水に親しむ活動支援事業

今年も、日野川の源流と流域の森と水に親しみ学ぶ活動を行う団体等（概ね3団体を対象）を支援します。現在、第2次募集を行っています。活動計画のある方は、ぜひ応募ください！

支援対象	・日野川及びその流域の森で行われる森や水に親しみ学ぶ活動やイベント ・親睦やレクリエーションではなく、森や水辺の自然やこれらに関わる歴史・文化などを学ぶことが盛り込まれた活動
対象団体	(1) 団体・グループ／米子市、境港市、西伯郡又は日野郡に所在する小・中学校、PTA、会社、企業グループ、自治会、子ども会、公民館、ボランティアグループ、NPO団体など (2) 本会の会員／・個人会員：概ね10人以上が参加する対象事業で会員の参加が全体の2分の1以上のもの ・法人会員：概ね10人以上が参加する対象事業のもの
対象経費	講師謝金、講師旅費、使用賃借料、印刷製本費、広報宣伝費、備品購入費など
支援額	1団体あたり上限10万円(会員は上限15万円)

※詳細については、本会ホームページを御覧いただくか、事務局まで御連絡ください。

「森と水に親しむ活動支援事業」

トップページ：<http://www.pref.tottori.lg.jp/219649.htm>

日野川の源流と流域を守る会

検索

案内 平成31年 これからのイベント・行事

※イベント開催日、内容は、変更される場合があります。

【H31.4.10現在】

時期	イベント名	内容	開催場所
5/11(土)	ホタルの棲む環境を守る活動&自然観察会	ホタルの生育を阻害する特定外来植物の除去作業と自然観察を実施します。	江府町
5/26(日)	春の山菜を楽しむ会&自然観察会	春の野山を散策して野草を学んだ後、山菜を食して自然の恵みを満喫します。	江府町
5月~10月	日野川フォトコンテスト	日野川流域の自然、歴史、文化などを対象にした写真コンテストを開催します。	—
6/8(土)	日野川写真塾	日野川流域の自然、歴史、文化、などを対象にした写真塾を開催します。	日野川流域
6/22(土)	森林整備体験と自然観察会	日南町の森林で間伐などの森林整備作業を体験した後、自然観察会を開催します。	日南町
7/7(日)	日野川一斉清掃&外来植物除去	「日野川一斉清掃の日」に参加し、自然観察と海岸の自然を阻害する外来植物の除去活動を行います。	日吉津村海岸
7月	日野川の自然環境と希少生物を守る体験活動	専門家によるオオサンショウウオ生態調査を見学し、河川生物の観察を行います。※日野郡内の児童対象	日南町
8/24(土)	日野川ラフティング&生き物観察会	日野川でラフティング(川くだり)体験と生き物観察会を開催します。	日野町
8月末	日吉津海岸クリーン作戦	日吉津海岸一斉清掃に参加します。	日吉津村海岸
9/28(土)	日野川源流探訪	自然解説を受けながら、日野川源流の碑を目指して探訪します。	日南町
10/5(土)	都合山たたら散策ツアー	自然・たたら解説を受けながら、たたらに縁がある場所まで散策して自然と歴史を満喫します。	日南町・日野町
11月上旬	奥大山古道ウォーク	自然・歴史解説を受けながら、大山古道を散策し、荒神神楽を鑑賞します。	江府町御机・下蚊屋ほか

※イベントの詳細内容や参加申込み方法は、募集の際（概ね1ヶ月前）に案内します。

日野川の源流と流域を守る会

会員 大募集中!

当会の活動は会員の皆さんに支えられています

「日野川を日本一美しい川」にするため、皆で日野川の源流と流域を守る会の活動に参加しましょう!

お申込み方法や会費などのお問い合わせなどについて、お気軽に下記事務局までご相談ください。Eメールやファクシミリは、いつでも受け付けております。なお、電話によるご相談は、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで受け付けております。

日野川流域憲章

【前文】

私たちは悠久の時の流れの中で、多くの恵みをもたらしてくれた日野川、その流域の素晴らしい自然・環境を守り、日野川の清流化に向けて活動します。日野川はたくさんの動植物の生命を育み、たくさんの人たちの生活も支えてくれています。

また、日野川流域には伝統ある生活文化・芸術が育まれています。私たちは日野川の歴史・自然を学び、よく理解して、より豊かできれいな日野川の流れを後世に残すために、みんなで力をあわせて活動します。そのために、ここに「日野川流域憲章」をつくり、多くの人たちの参加・協力をよびかけます。

【日野川流域憲章(理念)】

- ・日野川流域の自然・環境を守り、川と私たちとの素晴らしい共存に努めます。
- ・日野川のきれいで豊かな流れが、いつまでも続くように美しい緑の森を守り、育てるように努めます。
- ・日野川流域の交流・連携をすすめます。
- ・日野川流域の歴史・生活文化を学び、その知識を次世代に引き継ぐように努めます。
- ・日野川流域に培われてきた、さまざまな価値ある魅力を大切に、継続的な地域の発展に努めます。
- ・日野川流域を愛する人たちの輪が広がるように努めます。

平成20年8月23日
日野川流域憲章制定実行委員会